

1.1.4.1-16

「そもそも」と「もともと」の使い分け

1.1.4.1-16_「そもそも」と「もともと」の使い分け_ナレッジ



まず、「そもそも」と「もともと」の用法を了解しましょう

「そもそも」の用法

①(名詞、副詞)

名詞として(物事の)はじまり、最初、起こり、発端、当初など始まりの意味があり、動詞に接続して副詞的な用法としても活用される。

例)【そもそも】の発端は、私が遅刻したせいである。 例)この取り組みは、【そもそも】は僕が始めたものだ。

②(接続詞)

接続詞として文頭に置き、改めて説き起こすときに用いる語としても使用され、「いったい、だいたい、さて」の意味がある。※【そもそも】は、話の原点に戻る時や、物事の発端となった理由や問題が起こった箇所を振り返って、原因をはっきりさせたい時や、疑問に感じている場合に使われる言葉で、会話の中では多く使われる。

例)【そもそも】、この取り組みの目的は、システム開発の生産性を向上させることにあります。

例)【そもそも】、あなたの考えは間違っている。 例)【そもそも】、事前調査の不備がこのような事態を招いた。

例)【そもそも】、なぜ、そんな高価なものを持ってるんだ？

「もともと(元々)」の用法

①(副詞)

i) 物事の起こり・根本を指し、初めからそうであるさま、もともとから。

例)彼は【もともと】根はやさしい男なんです。 例)【もともと】彼には責任をとる気はなかった。

ii) 今より遡った当初の状態に言及するさま。※文末が過去形で終わる場合は今はそうではないことを表す。

例)この土地は【もともと】私の実家のものだった。

例)ここは【もともと】旅館だったが、今は改装されてホテルになっている。

②(名詞、形動詞)

元とくらべて大差なく、損も得もなく前と同じような状態であること。何かをした結果が以前の状態と少しも変わりが無い場合にも使われる。 例)失敗しても【もともと】だ。 例)ふられて【元元】だ。

1.1.4.1-16_「そもそも」と「もともと」の使い分け_ナレッジ

☞ 「そもそも」と「もともと」の使い分け(具体例)

【そもそも】と【もともと】は両方とも「元来」、「はじめから」という意味を表すが、使える場面がやや異なる。

①【そもそも】は叱ったり怒ったり、事実を突き詰めたり、非難する場面でよく使い、事実誤認を訂正するニュアンスがある。場合によっては語気が強まり過ぎて喧嘩腰になるので注意が必要です。

②【もともと】は以前の状態がそうであることを表し、特に別の意図が無い。

文末が過去形で終わる場合は今はそうではないことを表す。

①いや、彼は【そもそも】やる気がないんです。

②私は【もともと】やる気はない。

⇒

①もっとやる気を出せと言われたことに対して反論して事実誤認を訂正するニュアンスがある。

②元からやる気は無い状態を表すだけ。

①いえいえ、このペンは【そもそも】私のものですから。

②このペンは【もともと】私のものだった。

⇒

①ペンの初期の所有者は私であることを強調し、所有者について事実をつき詰めるニュアンスがある。

②昔は私のものだけど、今は私のものではない。

①文系っぽく見えますが、彼女は【そもそも】理系です。

②彼女は【もともと】理系だった。

⇒

①彼女は理系だと強調し、文系だと思って接する人がいて、事実誤認を訂正するニュアンスがある。

②昔は理系だけど今は理系ではない。

1.1.4.1-16_「そもそも」と「もともと」の使い分け_ナレッジ

A: 人がいっぱい、チケットがとれなかった。だから映画が見れなかったね。
B: 【そもそも】、あなたが遅刻したのがいけないのよ！



解説:

「そもそも」で事実の原因を突き詰め、強い非難の意味をもつ。

「もともと」はそのニュアンスは無い。

A: 日本の仏教は【もともと】中国から伝わってきたんだよ。
B: 実は中国の仏教は【そもそも】インドから伝わってきたんだ。
A: そうだったんだ。



解説:

Aは仏教は中国で生まれたものだと思っているのに対して、Bは間違いを指摘します。

この時BはAの間違いを訂正する意図があつて「そもそも」を使っている。

①

A: 漢字は【もともと】中国から入ってきたものだ。
B: あ、そうだったんですか。



解説:

①「漢字は中国から入ってきた」との事実を知らせるだけ、漢字と中国と関連性を強調しない。

②漢字と中国にたいする関連性を強調し、事実誤認を戒めておくべきという意図があつて「そもそも」を使った。聞いた側としては強く言われたと感じるはずだ

②

A: 中国の漢字って日本の漢字とホント似てますよね。
B: 漢字は【そもそも】中国から入ってきたものだ。

1.1.4.1-16_「そもそも」と「もともと」の使い分け_ナレッジ



ちょっと練習してみましょう。

- 問1 ()あなたの考えは間違っている。
問2 この本は()作者が日記として毎日書いていたものらしい。
問3 ()君が遅刻したからこんなことになってるんだ。
問4 今回失敗してしまったのは()私たちの力不足が原因だ。
問5 私は()大阪に住んでいた。

答え

- 問1 (そもそも)あなたの考えは間違っている。
問2 この本は(もともと)作者が日記として毎日書いていたものらしい。
問3 (そもそも)君が遅刻したからこんなことになってるんだ。
問4 今回失敗してしまったのは(そもそも)私たちの力不足が原因だ。
問5 私は(もともと)大阪に住んでいた。

解説:

叱ったり怒ったり、事実を突き詰めたり、非難する場面で「そもそも」をよく使い、事実誤認を訂正するニュアンスがあり、それが判断できないときはどちらでもいいです。
実際は文脈によって使い分ける必要があります。